

W e l c o m e t o a L i b r a r y

ようこそ 図書館へ

創刊号

2006年11月
津市図書館

おもな内容 シリーズ図書館活用法(1)(2)
レファレンス事例集
知ろう私たちの郷土



絵手紙講座(津図書館)

おはなしであそぼう!(うぐいす図書館)



子ども寄席(久居ふるさと文学館)



図書館は、元気いっぱい、夢いっぱい。
いろいろな行事をやってます。
おとなも子どもも楽しめるよ。
さっそくのぞいてみよう!!

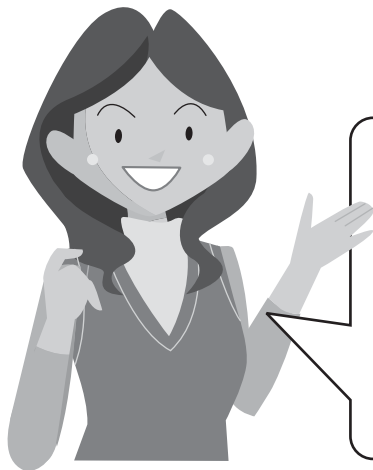


津市図書館ホームページ
<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>



図書館でよく使う言葉

図書館をご利用いただくとき、図書館員が使っている言葉がわからなかったことはありませんか。図書館員が仕事をするとき、当たり前のように使っている用語ですが、利用者みなさんには時として理解しにくいことがあるかもしれません。ちょっと、ご紹介しましょう。



〇〇〇の本を見たいのですが……。

その関係の本は、**分類〇〇〇**のところがございますが、館内**OPAC**で資料の検索をすることもできます。もし、お探しの本が貸出中の場合は**予約**ができます。所蔵のない場合は**リクエスト**か**相互貸借**をご用意いたします。参考資料は貸出ができませんが、**著作権の範囲内で複写**をしていただくことができます。わからないことがありましたら**レファレンス・サービス**をご利用ください。



分類

図書館では収集している多数の資料を、利用者の方が利用しやすいように学術の分野別に分類を行い書棚に並べてあります。分類の方法としては、日本十進分類法を採用し、次のような順番で資料を配架しています。

- 0 総記（図書館、図書、百科事典、一般論文集、逐次刊行物、団体、ジャーナリズム、叢書）
- 1 哲学（哲学、心理学、倫理学、宗教）
- 2 歴史（歴史、伝記、地理）
- 3 社会科学（政治、法律、経済、統計、社会、教育、風俗習慣、国防）
- 4 自然科学（数学、理学、医学）
- 5 技術（工学、工業、家政学）
- 6 産業（農林水産業、商業、運輸、通信）
- 7 芸術（美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸、娯楽）
- 8 言語
- 9 文学

館内OPAC(オンライン利用者目録)

館内設置のコンピュータで、利用者の方が直接図書館の資料や情報を得ることができます。

予約

所蔵している資料が貸出中で利用できない場合、次の貸出の予約をして優先的に本を借受けることができます。用意ができるとお電話で連絡をします。

リクエスト

所蔵していない資料を利用したい場合、購入の申し込みを受け付けて利用者の方に提供するサービスです。

相互貸借

所蔵していない資料を利用したい場合、他の図書館から借りて利用者の方に提供するサービスです。

著作権の範囲内で複写

出版された資料には著作権があります。その著作物を複写するときは著作権者の了解が必要となります。ただし、図書館では著作権法で認められた範囲内であれば了解を得ることなく複写することができます。

レファレンス・サービス

利用者の方の様々な疑問や調査に対して、調べもののお手伝いをするサービスのことで、お気軽にご相談ください。

あなたのすべての問題解決のために

困ったときは

そうだ、図書館へ行こう!

“あなたの悩みを聞かせてください”

仕事で営業を担当することになったんだけど、人と話すのはあまり得意じゃないし、話題も豊富じゃない、挨拶すら苦手で。おまけに外国の人との商談もあって…。悩んでいたら気分も落ち込んでしまうし、そのうち体調も思わしくなくなって、どうしていいかわからない。

わかりました。

その問題解決は図書館におまかせください。

それでは図書館をご案内しましょう。

図書館の本は本の内容によって分類、配架されています。[p2図書館活用法(1)を参照]

1類の哲学には、心を癒してくれる本や、元気を与えてくれる本、自己改革の本など心理学や人生訓の本があり、気分が落ち込んだときの参考になるでしょう。

2類の歴史には、歴史に強くなることは勿論、激動の時代を生きた人の伝記があり、逸話や語録に触発されることでしょう。また、ここには各地の旅行ガイドもあり、気分転換に旅行に出かけるときにはこちらのご利用を。また、紀行文を読めば出かけた気分も味わえますよ。

3類の社会科学には、人間の社会生活にかかわる本が並べられています。政治・経済など社会情勢がわかる本、ビジネスマナーやコミュニケーション術、経営戦略などビジネスマン必携の本がいっぱい。また、家族のことや教育にお悩みのときもこちらを参考に。

4類の自然科学には、自然現象の様々な事象や医学関係の本が並んでいます。心のケアから身体のケアまで、自分自身と家族の健康管理の本がいっぱい。

5類の技術には、工業技術や今話題の建築関係の本、環境問題の本があり、無関心ではいられない。いまや情報化社会、コンピュータ関係はこちらに。さらにおいしいものを食べて元気をつけたいときは料理本を参考に。おいしいものを食べればしあわせ気分。

6類の産業には、マーケティングや販売戦略の本

があり参考になること受け合い。また、心和む庭作り、ガーデニングの本やあなたのかわいいペットに関する本もあります。

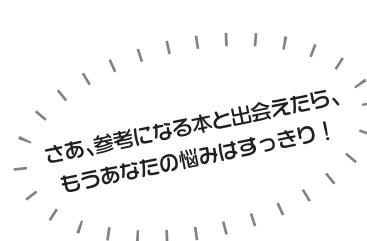
7類の芸術では、美術や音楽の知識を習得、今話題のスポーツ情報や身体を鍛えたいと思ったらこの本を参考に。また、あなたの趣味のお助けブックもここに。

8類の言語では、商談に必要な会話術や苦手なあいさつ文や手紙の書き方、また、英会話や韓国語など外国語習得するならこちらを参考に。

9類の文学には、日本、外国、古典から現代までの文学がいっぱい。長い通勤電車のなかでも本があれば退屈知らず。ひととき小説の世界にひきこまれては。

0類の総記には、総合的な情報資料としての百科事典や年鑑などがあり、困ったときのお助けブックとして活用ができます。また、情報科学はここにもたくさんありますよ。

ご紹介したのは、ほんの一部です。図書館の書架めぐりをして、いろんな本と出会ってください。



毎日の生活の中での疑問や、調査・研究のための調べ物のお手伝いをします

レファレンス 事例集

こんなレファレンス
がありました!

Q. 「熟年」ということばは、いつ頃から使われたか。

A. 「広辞苑」(岩波書店)によると、人生の経験を積み円熟した年頃。「老年」に代わるものとして、1970年代後期に作られた語とある。また、「大辞林」(三省堂)によると円熟した年頃50歳前後の年齢。中高年、実年。小説家、邦光史郎が1978年(昭和53年)に用いたとある。

Q. 旧暦では同じ月が2回ある年があると聞いたがそれは本当か。

A. 「暦の百科事典」(本の友社)によると、月のみちがけの周期、朔望月^{しつぼうげつ}29日半を基に暦月をたて、その12カ月を1年とすると季節にずれが生じるため、一定の範囲内におさまるように、時々1ヶ月分を入れて1年を13ヶ月とし、太陽の季節に合わせる事が考えられた。その余分に入れる月を閏月^{うるしづき}といったとある。陰陽暦月日対象表を参照するとわかりやすい。

Q. 各地方(方言)での「じゃんけん」の掛け声を知りたい。

A. 「現代日本語方言大辞典」(明治書院)に各地のじゃんけんの呼び名や掛け声、手の形、アクセント等の記述がある。

例)三重 ジャンケンホイ
いし(石)、パー(紙)、ハサミ(はさみ)
愛知 インジャンホエー
グー(石)、パー(紙)、チー(はさみ)
岐阜 ジャンケンポイ
二ギリ(石)、ヒラ(紙)、ハサミ(はさみ)

Q. 自動車の保有台数と環境への影響がわかる資料が見たい。

A. 「環境統計集」(環境省)の大気汚染・移動発生源のところに、自動車の保有台数の推移や各種大気汚染物質の排出量の記述がある。また、「環境白書」(ぎょうせい)にも大気環境の現状として、自動車排出ガス対策や自動車交通騒音・振動対策などの記述がある。ほか「環境要覧」(古今書院)にも地球環境についての解説記事と具体的なデータが掲載されている。

図書館員のひとりごと

目指せ! 本の探偵

図書館の児童コーナーにはたくさん子ども達がやってきます。お気に入りのシリーズがある子、何かを調べにやってくる子、なんでもいいからおもしろい本が読みたい子…。そんな子ども達に本を紹介したり、本を探す手助けをし

たりしているわけですが、題名も作者も分からない本を探しているという人も、実は結構いたりします。

「三角の顔をしたねずみがでてるカラフルな絵本」、「緑色の表紙で豚の探偵の本」、なかには「メケメケの本」なんていう『?』な手がかりしかない時も。

こんな時は頭をフル回転して、

記憶の中の思い当たる本を呼び出します。そうやってお目当ての本を発見できた時の喜びはもう最高! 子ども達もとても喜んでくれます。

まだまだ見つけられない本も多いですが、どんな小さな手がかりでも求める本を見つけれられるような本の名探偵を目指して、日々皆さんの毎日です。

知ろう私たちの郷土

津市久居ふるさと文学館の特殊コレクション 中川 豊

津市久居ふるさと文学館には、信藤家文書（約6,900点〔書籍は1冊を1点〕）・小田毅寄託文庫（全333点）などの特殊コレクションがあり、江戸期の古文書、古典籍が伝えられている。このうち郷土資料について若干の資料紹介を行いたい。

信藤家は、現在の久居元町に居を構え、江戸時代全時期を通じて大庄屋を務めた家柄である。従って資料の大半は、借用証文・年貢記録・金銀出入帳・宗旨改帳などの文書類で構成されている。信藤家の先祖は織田信長の家臣で、信長の伊勢侵攻によりその子信雄が封ぜられるとともに伊勢へ下向したという。

信藤家一族のうち文事に打ち込んだのが西信藤家七代久昌（櫛園 1764～1835）と東信藤家の久英（梅勇 ?～1854）である。櫛園は「寸暇あれば則ち文詩に親み、城中諸友を招飲して、吟詠唱和自ら楽み、又朝川善庵、大窪天民等と遙に詩文の交りを為せり（『伊勢久居藩史（藤影記）』）」というように、漢詩に力を注いだ。例えば「某氏添削信藤久昌七律（所蔵者書名「始培）」（16-29-4）というような漢詩草稿が伝わっている。久英は主に俳諧を嗜んだようである。「文月九日舟中誹諧之連脉養中独吟」（信藤家文書16-30-6）には「梅勇」の名が見られる。

小田毅寄託文庫は、平成16年に久居在住の小田毅氏より、それまでに収集してきた郷土資料が寄託されたものである。中でも「木造左右衛門佐戸木籠城次第」（小田毅寄託文書1）は貴重。

ところで久居が生んだ歴史上の人物で、最も著名なのが橋南谿（1753～1805）であろう。南谿（名は春暉）は独学で香川修庵などの医書から医術を学んだ。著作としては『東遊記』『西遊記』『北窓瑣談』などの紀行文、随筆が広く知られている。津市久居ふるさと文学館には、南谿の木座像が保存されている。これは桑名に住む南谿の御子孫から寄贈（この一点のみ）されたものである（写真）。木座像の裏面には「橋春暉像／康珍造」と朱筆で書かれてある。

久居ふるさと文学館には、津に関する郷土資料も伝わっている。例えば『旧津藩有造館之図』（小田毅

寄託文庫407）『高虎公御書』（信藤家文書2-11）『子規亭詩』（同L9-7391）『資治通鑑』（小田毅寄託文書201～348）『日本書紀通証』（小田毅寄託文書5-2～35 欠巻あり）、そして斎藤拙堂・津坂東洋など津藩の学者たちの著作類などである。『旧津藩有造館之図』は津藩藩校有造館の見取り図。一枚刷り。刊年はないが明治初期のものであろう。『子規亭詩』は、藺田一斎（1785～1851）の漢詩集。津藩からの出版。一斎は伊勢宇治の神職の家の出であるものの、儒学を志し、西国遍歴の後、津藩家老藤堂高基（1803～1824）の賓師となった人物である。伝本（現在まで残っている本）は『国書総目録』『古典籍総合目録』によると国立国会図書館等五箇所に所蔵が確認されるものの、三重県内には見あたらない。

以上のように久居ふるさと文学館には、久居・津にとって大変有益な郷土資料が保存されている。しかし残念なことは、目録が公開されておらず、館内閲覧用の仮目録があるのみである。紙面の都合上このたび紹介がかなわなかった箕浦家文書（全55点）などもある。利用者の便のため、より多くの利用のため、そして寄贈者・寄託者のためにも、書名索引を付した分類目録の整備を図っていきたい。



橋南谿木像

※このシリーズは、『図書館だより』（津図書館）から引き続き掲載しています。



休館日・開館時間などの ご案内

※下記の休館日のほかに特別整理期間(年1回、14日以内)や、臨時に休館することがあります。

【特別整理期間による休館】
美里図書館 11月7日(火)～19日(日)

館名	開館時間	休館日
津図書館 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内 TEL 229-3321	平日 9:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
久居ふるさと文学館 久居東鷹跡町2-3 TEL 254-0011	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
ポルタひさいふれあい図書室 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内 TEL 254-0464	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	12月29日～1月3日
河芸図書館 河芸町浜田782 TEL 245-5300	10:00～18:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日(土・日曜日にあたるときを除く) 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
芸濃図書館 芸濃町棕本6824 津市芸濃総合文化センター内 TEL 265-6004	9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときを除く。) 12月28日～1月4日
美里図書館 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内 TEL 279-8122	9:00～17:00	火曜日 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
安濃図書館 安濃町東観音寺418 津市サンヒルズ安濃内 TEL 268-5822	10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
きらめき図書館 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内 TEL 292-4191	9:00～17:00 (7・8月の平日は 18:00まで)	火曜日 祝・休日(土・日曜日にあたるときを除く) 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
一志図書館 一志町井関1792 津市とことめの里一志内 TEL 295-0116	10:00～18:00 (7・8月の平日は 19:00まで)	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 12月28日～1月4日
うぐいす図書館 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内 TEL 262-5000	平日 10:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日(祝・休日にあたるときは、その翌日) 祝・休日 毎月最終木曜日 12月28日～1月4日
美杉図書室 三杉町八知5828-1 津市美杉総合開発センター内 TEL 272-8092	9:00～16:30	土・日曜日 祝・休日 12月28日～1月4日

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 創刊号

発行日/平成18年11月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館
三重県津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ内 TEL (059)229-3321